



9月の園だより

令和6年9月1日
目黒区立田道保育園長

まだまだ暑さが続きますが、時おり吹く風が涼しく感じる事が多くなり、秋の訪れを感じるようになりました。先日、園で飼っているカメの水槽を掃除し、天気が良かったので園の玄関の前に置き、カメを甲羅干しさせていました。夕方になり、玄関の前に数人の親子が集まっていた。見に行くと親子でカメを観察していました。小さい子が「なに、これ」と言うと4歳児クラスの子が「このカメはミドリガメっていうんだよ。首の所が赤いんだよ」と生き物が大好きで毎日図鑑を見ているのでよく知っていて、小さい子に説明をしています。「そうなんだ、かわいいね」と一緒に見ていたお母さんは感心して大きく頷いていました。「エサあげたい」というので手のひらにのせると一粒一粒、カメが食べやすいところにあげています。子どもたちが「食べているよ」とつぶやくと、「本当だね。美味しそうにたべているね」と親子で顔を見合い、笑っていました。日常の中の小さな出来事ですが、その光景をととても微笑ましく感じました。保育園は親子の絆を築く場所であると改めて感じます。保育園が子どもにとっても保護者にとっても安心できる場所、子育てが楽しく感じられる場所になるよう、親子の絆に寄り添ってまいります。

今月は引き渡し訓練を予定しています。南海トラフ地震臨時情報の「特別な注意の呼びかけ」は終了しましたが、今後の地震や台風に備えて保育園では日常的に施設点検、遊具点検を行い、安全管理に努めています。備蓄品は職員、子どもと共に保育園で3日間過ごせる分が用意されています。ご家庭でもこの機会に備蓄品の確認、災害時の連絡方法など家族で話し合っておくと良いと思います。

今月の予定

引き渡し訓練

※中旬 身体計測



『 セミの応援 』

～副園長エピソード～

毎日暑い日が続きますが子どもたちは水遊びやプール遊びを楽しんでいます。1歳児クラスの子がタライの水をペットボトルに入れようと手で水面を押していると、セミが鳴き始めました。「セミさんが応援しているよ」と声をかけると、少し顔を上げてセミの鳴く方を見回すと、ニヤリと笑い、またペットボトルに水を入れようと頑張っていました。4歳児クラスの子のプール遊びを楽しんでいると、横の木でセミが大きな声で鳴いていました。プールに入っている子がセミの鳴き声に気づき、「クマゼミだ!」と言うので「セミさんが応援しているよ」と声をかけると、「よし」という表情になり潜っていました。他の子もセミの声に刺激され「ぼくも」と潜っています。その様子を見ていた子が、いつもは立って歩いているのですが、体を水の中にゆっくり入れて、しゃがんでアヒルになって微笑みながら前に進んでいました。暑い中、セミの声や友達の姿に励まされて、夏の遊びを楽しんでいました。



プール遊びを楽しみました



『 楽しかった～！ 』

ぺんぎん組（3歳児クラス）

保育園での初めてのプールにドキドキしながらのスタートでしたが、あっという間に水と友達になりました。プールの底に両手をつけてワニになりきり「見てみて」とゆったり進んでいます。ワニのまま水のトンネルくぐりにも挑戦。「このワニは顔もつけれるんだよ！」と一瞬顔をつけて得意そうな姿がほほえましいです。アヒルやイルカなど動物にもなりきりながら、水の中を歩いたりジャンプしたりと楽しみました。水遊びでは、ゼラチンゼリー、氷などの感触や色水を混ぜて色の変化を楽しむことができました。プールや水遊びが終わる時には、毎日のように「楽しかった～」「まだ遊びたいな」「またやろうね」という声が聞こえてきました。夏ならではの遊びを満喫した、ぺんぎん組でした。



『 アイディアたくさん 』

いるか組（4歳児クラス）

プール開始前から7月のカレンダーを見て「もうすぐプール」と嬉しそうな声飛び交っていました。また始めた頃は顔に水がかかるのが苦手な子もいましたが、子どもたちの大好きなアヒルやワニなどの動物になりきって楽しみながら、どんどん水に慣れていきました。後半は「次は恐竜になろう」「セミはこうだよ」とアイディアがたくさんでてきて、それをみんなで真似をして楽しんでいる姿がとても面白かったです。また毎回リクエストがあり盛り上がったのがフープくぐりでした。最初は保育士が縦に持ったフープをしゃがんだり、潜ったりしてくぐっていたのですが、段々と「今日はフープを横にしてくぐってみたい」と挑戦する姿が出てきて、見ていた友達から「すごい」と声がかかることもありました。日に日にレポートリーが増え「カニでくぐるからみてて」「もっと、フープを上にして」と言いながらフープをくぐっていく表情はとても自信に満ち溢れていました。一人ひとりがアイディアを膨らませ、様々なことに挑戦した夏となりました。



『 友達の存在 』

くじら組（5歳児クラス）

プールが始まったばかりの頃、Aさんは「顔つけるの嫌なんだよ」と言っていました。でも友達が潜ったり、泳いだりする姿を見ながら毎日プールを楽しむうちに「先生見て、顔つけられるようになったよ」と水面に少しだけ顔をつけるところを見せてくれました。そのAさんの姿を見ていたBさんも顔をつけられるようになるとAさんが「Bちゃんすごい！顔をつけられてるよ、すごいね」と自分のことのように喜び声をかけてくれました。それを聞いたBさんもとても嬉しそうで、今では2人とも気持ちよさそうに水中でフープをくぐり楽しんでいます。“やってみたいこと”“できるようにになりたいこと”を見つけ頑張ってみようという気持ちや友達を目標に挑戦する気持ち、友達を認める姿など友達の存在がとても大きく、様々なことを感じ合っていることが伝わってきました。プール遊びを経験して味わった喜びや自信が、また1つ子どもたちの成長へと繋がっていき感じています。

